



落語でビジネス書

落語の教訓と、ビジネス書には実は共通点が??

人づきあいの本質を説いたデール・カーネギー不朽の名著「人を動かす」を古典落語や、このイベントのためにアレンジされた落語を通じて紐解きます。笑いあり?涙あり?賛否あり?単なる解説だけでは終わりません。

ビジネス書の名著に触れるきっかけにしてみませんか?

(図書・情報館の司書も交えて簡単な解説トークもあり!)

綴家 段落



子どもの頃から落語に親しむ。上京、弟子入りを小学校6年生で断念。長〜い沈黙の後、伊能忠敬を見習い50歳で一念発起。落語を始める。小学校の先生という立場を使い、教室で落語を始めて自分が一番楽しむ。小学校や社会福祉施設などの依頼に応じて高座に上がり、調子に乗って札幌落語倶楽部を始め。退職後は、「子どもたちに生の落語を」と、小学校を中心に子どもたちに落語を話す「出前落語高座」も始めている。様々依頼をお待ちしています。北海道どこでも「下駄をはいて落語を聞ける街」にしたい。札幌落語倶楽部・道東落語倶楽部「こてんこてん」
綴家 段落(つづりや だんらく)

日之出家 金助



学生時代に落研にいたわけでもなく、普段もちょっと面白いわけでもないのに、「落語好き」ということだけで2013年12月に綴家小太郎(現段落)一門(=札幌落語倶楽部)に入門。初代日之出家金助を名乗る。2014年2月、入門からわずか2か月ほどで初高座に大胆にも「あくび指南」をかけ、客にあくびされることなく無事に任務完了。入門から9年が経ち、齢五十を迎えた令和三年ついに札幌落語倶楽部の二代目代表に就任。好きな落語家は柳家喬太郎、柳家花緑、三遊亭小遊三。
日之出家 金助(ひのでや きんすけ)

日時 2023年1月22日(日) 13:30-15:30(開場13:00)

会場 札幌市図書・情報館1階サロン 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ内

定員 50名(事前申込制)
空きがある場合は当日参加可能

参加料 無料

合同会社tab申込フォーム、もしくは図書・情報館への電話(011-208-1113)にて、お申込みください。感染症拡大防止のため、連絡先をお聞きます。(感染者が発生した場合、保健所等に連絡先を提供する場合があります。この他の目的には使用しません)



申込フォーム

主催/札幌市図書・情報館 共催/札幌落語倶楽部with梅田修平 協力/合同会社tab



札幌市図書・情報館

連絡先/札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110
HP : <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



SAPPORO



さっぽろ市
02-S03-22-456
R4-2-363